

[実施報告書]

学校読書活動の取組【向日市立西ノ岡中学校】

1 実践テーマ

生徒の読書意欲を喚起し、本との出会いを大切にし、読書の楽しさを味わえるようにする。

2 学校の概況や生徒の様子等

本校は向日市最北に位置し、京都市と隣接している。生徒数は1年115名（3学級）、2年134名（4学級）、3年128名（4学級）、特別支援学級3学級の中規模の学校である。学校教育目標は「人権尊重を基盤とし、社会で自立・共生するための力を育て、社会に貢献できる生徒を育成する」とし、重点項目として(1)確かな学力の育成(2)豊かな人間性の育成(3)健やかな身体の育成(4)学びを支える教育環境の整備の4点をあげ、教育活動を推進している。特に(2)豊かな人間性の育成において、読書活動を全校で取り組む中で、生徒の主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実を図りたい。

3 実践内容

(1) 朝読書

毎朝8:30～8:35の時間で全校一斉の読書時間を設定している。

どの学級でも集中し、教師も一緒に読書をするので一体感のある雰囲気に取り組んでいる。

本校では、例年朝読書の取組や読書冊数のアンケートを実施しており、朝読書の取組に対して1、2年生は90%以上が肯定的で、3年生は80%以上が肯定的であった。平成24年度から全校で取り組んでいる朝読書が生徒たちの中に浸透しており、今後も継続してアンケート等を実施しながら、朝読書の活動時間や内容などを見直し、生徒が前向きに朝読書の活動を続け、読書に親しむことができる環境作りに努めたい。

また、読書冊数のアンケートでは、学年、学級ごとの不読率や学校全体の朝読書への意識をまと

令和4年 朝読書アンケート 2学期

2学期も残すところあと少いです。2学期の朝読書で少しでも多くの本を読むことができましたか。
図書室の利用人数や貸出冊数も増えてきています。今後の朝読書の取組をさらに良くするためにアンケートを取ります。
2学期の朝読書を振り返る意味でもアンケートに回答してください。

1 朝読書の取組についてこの取組を評価してください。(どれかに○をつける)
また、A～Cを選んだ理由についても記入してください。

A とても良い B 良い C あまり良くない

☆この取組に対する評価です。自分の取組状況を評価するものではありません。

A～Cを選んだ理由

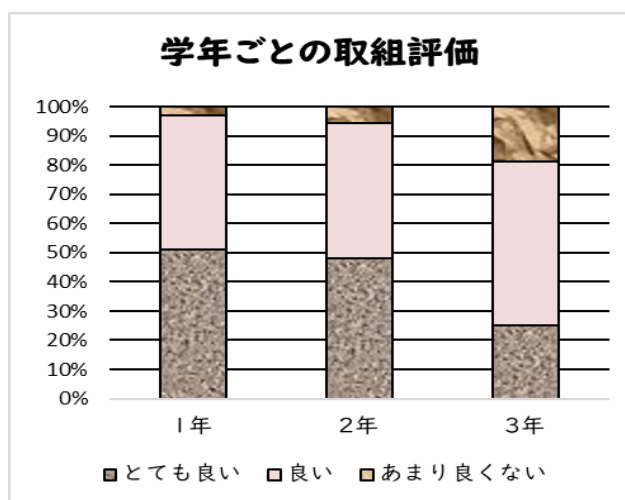
2 1ヶ月の読書量について教えてください。
Aに○をした人は、何冊読んだかも教えてください。

A 4冊以上 B 2冊～3冊 C 1冊以下 Aに○をした人 冊

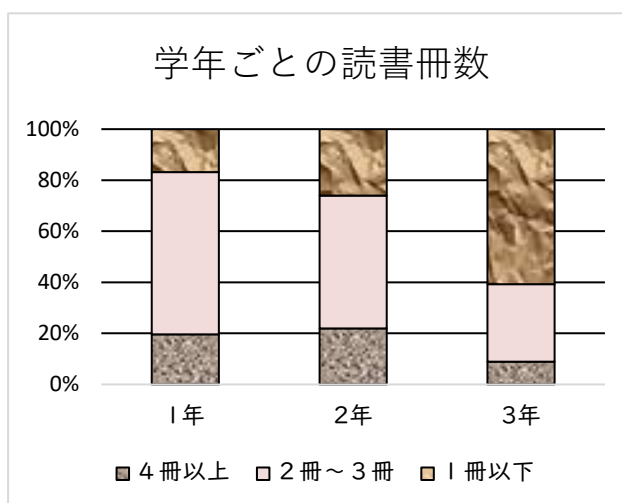
3 2学期の取組を行った感想を記入してください。

(アンケート用紙)

め、校内研修で交流し、本校における読書活動の改善に役立てた。



(朝読書アンケート結果)



(読書冊数アンケート結果)



(朝読書の風景)

(2) 図書室運営

図書室は生徒が生き生きとした学校生活を送れるようにするために、また、生徒のストレスの高まりや、生徒指導上の諸問題への対応の観点からも、学校内に「心の居場所」としての機能を充実させることが重要であると考え、毎日昼休みに図書室を開館している。図書加配及び本市教育委員会から配置の図書館支援員で図書室の開館管理を分担し、毎日途切れなく、図書室の管理に携われるようにしている。

生徒が入室しやすい環境作りとしては新着図書やシリーズ本のコーナーなどを設け、興味を引きやすい配架を行い、生徒は「心の居場所」として、落ち着いた雰囲気でも図書室を活用することができた。

図書の購入・登録・配架は図書支援員と相談しながら実施している。本校図書支援員が向日市図書支援員会議に参加し、他校の支援員と交流を図り、他校の配架状況も確認しながら、必要な図書の購入等をすすめた。

放課後や長期休業等の開館時間については、ボランティア等の人材確保が新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり進んでおらず、今後の検討事項である。



(図書室前の掲示)



(書架のポップ)

(3) 学級文庫への貸出

学級文庫に図書室の本を貸し出している。朝読書の本を選ぶときに活用している生徒が多い。定期的に図書委員による選書を行い、様々な本を手にとれるようにしている。

(4) 図書委員会による活動

生徒が主体的に図書室運営に関わることで、より一層生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実させることができた。

図書委員会による活動は次のとおりである。

- ・ 昼休みの図書館開館および貸出・返却
- ・ 生徒におすすめしたい本を紹介するPOP作り(前期・後期で1回ずつ)
- ・ 学級文庫の本の定期的な入れかえ



(5) 授業での利用

入学時に国語科の授業で図書館利用のオリエンテーションを行っている。また、特別支援学級では、ことばや文章、本に積極的に接し、読み、書き、表現する力を高めるために、授業における積極

的な読書活動の導入を図るために図書室を活用している。



(6) 図書館通信の発行

学校図書館がもつ、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能のうち、「情報センター」としての機能を生か

すべく、月に1回程度、図書館通信を発行している。図書室に新しく入った本やおすすめの本を紹介し、普段図書室に来室しない生徒にも配布することで、読書啓発を行っている。

図書室通信

2022年4月号

今年度より図書室支援員の先生が新しく来られました

今年度より八木桂子先生に図書室支援員として毎週月曜日と水曜日に図書室に来てもらいます。本の貸し出しや図書室に関することをしてもらいます。よろしくお祈りします。

4月23日は「子ども読書の日」です。

あわせて4月23日～5月12日は「子ども読書週間」です。

「子ども読書の日」、「子ども読書週間」とは、「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから誕生した取組で、「子どもに読書を進めるだけでなく大人にとっても子どもの読書の大切さ」を伝えようという取組でもあります。

図書室ではたくさんのお本が読めます。また、新しい本がどんどん入ってくるのでぜひ訪ねて来てください。

子ども読書の日

国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、「子どもの読書活動の推進に関する法律」では、4月23日が「子ども読書の日」と定められました。これは、シェイクスピアとセルソ/リナスの誕生日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることなどからなっています。この日を中心に、国や地方公共団体では、さまざまな取組が進められています。

図書室使用について

本年度、開館して間もないですが、たくさんの方が来館しています。たくさん来るのはうれしいことですが、たくさんになるとくに発生しやすいルールを守り、安心して読書ができる空間をみんなで作っていきましょう。

- 入室時には、必ず手洗いをお願いします。
- 開館する時は扉を開き、換気しましょう(×)のときは使用しない。
- 空にならないようにお互いに距離をあげましょう。
- 室内ではおしゃべりをしないで静かにしましょう。
- 室内が窮屈になってきたら、退出するなどお互いに配慮しましょう。
- 退出時には、本をきちんと元の場所に返し、イスもきちんともどしてから退出しましょう。
- 借りた本は期日内に返すようにしましょう(次の人が待っています)。

本のリクエストについて

今年度多くさんの本を図書室に入りたいと思っています。そこで、生徒のみなさんからの本のリクエストを募集しています。全部の本を購入できるわけではありませんが、みなさんの読みたい本、読んでほしい本のリクエストをよろしくお祈りします。

図書室通信

2022年4月号

新しく図書室に入った本の紹介です

書名	著者
あわせをさがしているきみに	エブフォーランド
オオニウおどります	ペギーザイル
スマホ脳	アンデリュハンセン
小説青春バブル7	渡辺航
ブラザーズ・ブッシュ	佐藤ひかり
みんな好かれなくていい	和田秀樹
捨てない♡屋の挑戦 あわせのレシピ	井出良美
エレジーは流れない	三浦しをん
しんじつ時の自分の守り方	増田史

読書の秋、ぜひ本を読みにきてください

自分を見つけつづける本	読者みらい
オードリー・タン 自由への手紙	オードリー・タン
少女と少年と海の物語	クリス・ヴェック
悪者からの遺書	岡嶋裕太
他者の靴を探る	フレデリック・カコ
植民地時代のきびんごは経費で落ちたものか?	高橋勲、村上マサキ
権威と最新の社会問題	石井克史
なぜ私たちは理系を選んだのか	橋本一
鎌倉物語 伝説版	ボブラ社
10代のおうちに伝えた学校で悩まばく見つけた未来を切りひらく思考	山崎隆一郎

本の紹介をします「捨てない♡屋の挑戦」

時々、問題になっている食品のロス。子どもたちも気づいて大活躍したお母さんが、捨てない♡屋として食品ロス問題の解決への希望を届けたノンフィクションです。なぜ♡屋さんのパンは売れるのか、みなさんが普段から利用している♡屋さんも同じような取組をしているのかも...ぜひ図書室に訪ねて来てください。

4 成果と課題

(成果)

- ・ 図書館教育部を中心にアンケート等の結果を踏まえて、朝読書の時間や形態などを改善できる体制づくりに努め、「やらされている」ものではなく、自ら進んで「取り組んでいる」ものとして読書が位置づけられ、読書が学校のよりよき「文化」として浸透している。
- ・ 図書支援員が向日市教育委員会から配置されているおかげで、図書加配及び図書館教育部と連携を図ることで、日々の図書館運営が円滑に行われ、蔵書の追加についても本校だけでなく、他校の状況も把握しながらすすめることで、生徒にとって非常に満足いく新刊の配架が行えた。

(課題)

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書ボランティア等の活用がすすめられておらず、次年度については、感染状況や対応の状況等に鑑みながら活用をすすめていきたい。
- ・ 授業での活用に課題があり、国語科を中心に「ビブリオバトル」などの取組をすすめ、読書意欲の向上、読書に親しむ態度や「ことばの力」の育成、読書習慣の形成などに努めていきたい。